

第2部 看護教員調査

看護教員調査では、「基本的属性」、「教員となった動機と経験」、「教員の仕事の実態と意識」、「教員の満足度」、「看護教育に対する考えや意見」を中心に質問を構成した。

I 基本的属性

1. 勤務している学校

(1) 学校の所在地

都道府県ごとの回答者数と各都道府県別の回収率などを示したのが、表1である。

回答者の全国分布は、『東京』と『愛知』を除き、調査対象者の全国分布とほぼ同じような割合を示していた。

回収率が高かった上位3県は、『鳥取』(74.5%)、『静岡』(72.4%)、『山梨』(69.6%)の順であった。また、回収率が低かった下位3県は、『沖縄』(30.4%)、『岐阜』(38.8%)、『宮崎』(44.6%)の順であった。

(2) 学校の設置主体

表2から、「高校衛看」と「3年課程」では、『都道府県』立の学校に勤務している教員が、それぞれ52.3%、22.5%いた。「准看学校」では、『医師会』立の学校に勤務している教員が、68.9%いた。「進学コース」では、『都道府県』立と『医師会』立の学校に勤務している教員が、それぞれ20.8%、21.7%とほぼ2割いた。また、『国』立と『学校法人』(私立)の学校に勤務している教員が、「短大」ではそれぞれ36.4%、36.0%、「大学」ではそれぞれ41.6%、42.9%とほぼ同じ割合であった。

(3) 勤務学校の出身校別

現在勤務している学校が、『卒業した学校』『卒業学校の併設校や姉妹校』『その他の学校』のどれにあたるのかをたずねたのが、表3である。

各課程とも『その他の学校』に勤務している教員が、58.2~88.0%いた。しかしながら、「3年課程」と「短大」や「大学」では、卒業した学校の関連学校に勤務している教員が、それぞれ41.5%、39.7%いた。

看護教育調査

表1 勤務学校の所在地

	高校衛看	准看学校	進学 コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体		
									計	調査 対象者数	回収率 (%)
北海道	11(3.6)	32(3.4)	38(3.1)	136(7.4)	19(4.2)	0(—)	2(1.2)	1(2.9)	239(4.7)	440(4.7)	54.3
青森	14(4.6)	15(1.6)	13(1.0)	13(0.7)	7(1.5)	6(4.5)	5(3.0)	0(—)	73(1.4)	144(1.5)	50.7
岩手	2(0.7)	12(1.3)	12(1.0)	25(1.4)	6(1.3)	0(—)	0(—)	1(2.9)	58(1.1)	125(1.3)	46.4
宮城	5(1.6)	16(1.7)	15(1.2)	26(1.4)	6(1.3)	0(—)	1(0.6)	0(—)	69(1.3)	124(1.3)	55.6
秋田	6(2.0)	5(0.5)	5(0.4)	17(0.9)	7(1.5)	0(—)	0(—)	0(—)	40(0.8)	80(0.9)	50.0
山形	7(2.3)	5(0.5)	9(0.7)	17(0.9)	0(—)	0(—)	1(0.6)	0(—)	39(0.8)	64(0.7)	60.9
福島	3(1.0)	19(2.0)	13(1.0)	47(2.5)	0(—)	0(—)	2(1.2)	2(5.7)	86(1.7)	129(1.4)	66.7
茨城	4(1.3)	7(0.7)	25(2.0)	39(2.1)	8(1.8)	0(—)	1(0.6)	0(—)	84(1.6)	158(1.7)	53.2
栃木	4(1.3)	25(2.6)	11(0.9)	16(0.9)	11(2.4)	0(—)	3(1.8)	0(—)	70(1.4)	138(1.5)	50.7
群馬	0(—)	24(2.5)	14(1.1)	17(0.9)	12(2.6)	0(—)	0(—)	1(2.9)	68(1.3)	130(1.4)	52.3
埼玉	13(4.3)	39(4.1)	63(5.1)	59(3.2)	20(4.4)	0(—)	16(9.8)	4(11.4)	214(4.2)	375(4.0)	57.1
千葉	5(1.6)	25(2.6)	24(1.9)	63(3.4)	28(6.2)	20(15.0)	5(3.0)	1(2.9)	171(3.3)	357(3.8)	47.9
東京	2(0.7)	54(5.7)	93(7.5)	171(9.2)	66(14.6)	44(33.1)	3(1.8)	4(11.4)	437(8.5)	901(9.7)	48.5
神奈川	7(2.3)	28(3.0)	57(4.6)	98(5.3)	6(1.3)	23(17.3)	12(7.3)	0(—)	231(4.5)	473(5.1)	48.8
新潟	6(2.0)	8(0.8)	9(0.7)	36(1.9)	9(2.0)	0(—)	8(4.9)	0(—)	76(1.5)	121(1.3)	62.8
富山	8(2.6)	8(0.8)	12(1.0)	21(1.1)	0(—)	0(—)	3(1.8)	0(—)	52(1.0)	84(0.9)	61.9
石川	1(0.3)	18(1.9)	14(1.1)	38(2.1)	7(1.5)	0(—)	0(—)	0(—)	78(1.5)	112(1.2)	69.6
福井	2(0.7)	9(1.0)	18(1.4)	12(0.6)	10(2.2)	0(—)	1(0.6)	0(—)	52(1.0)	93(1.0)	55.9
山梨	0(—)	6(0.6)	11(0.9)	31(1.7)	0(—)	0(—)	6(3.7)	1(2.9)	55(1.1)	82(0.9)	67.1
長野	8(2.6)	12(1.3)	5(0.4)	27(1.5)	7(1.5)	0(—)	0(—)	1(2.9)	60(1.2)	126(1.4)	47.6
岐阜	4(1.3)	17(1.8)	19(1.5)	24(1.3)	9(2.0)	0(—)	0(—)	0(—)	73(1.4)	188(2.0)	38.8
静岡	13(4.3)	16(1.7)	13(1.0)	61(3.3)	18(4.0)	0(—)	9(5.5)	1(2.9)	131(2.6)	181(1.9)	72.4
愛知	12(3.9)	88(9.3)	100(8.1)	126(6.8)	25(5.5)	15(11.3)	17(10.4)	1(2.9)	384(7.5)	607(6.5)	63.3
三重	5(1.6)	14(1.5)	15(1.2)	28(1.5)	16(3.5)	0(—)	7(4.3)	1(2.9)	86(1.7)	128(1.4)	67.2
滋賀	5(1.6)	8(0.8)	4(0.3)	40(2.2)	10(2.2)	0(—)	0(—)	0(—)	67(1.3)	103(1.1)	65.0
京都	3(1.0)	16(1.7)	33(2.7)	42(2.3)	5(1.1)	0(—)	1(0.6)	2(5.7)	102(2.0)	207(2.2)	49.3
大阪	1(0.3)	47(5.0)	122(9.8)	168(9.1)	27(6.0)	0(—)	19(11.6)	7(20.0)	391(7.6)	701(7.5)	55.8
兵庫	6(2.0)	45(4.8)	53(4.3)	57(3.1)	15(3.3)	0(—)	16(9.8)	1(2.9)	193(3.8)	326(3.5)	59.2
奈良	0(—)	18(1.9)	10(0.8)	27(1.5)	0(—)	0(—)	3(1.8)	0(—)	58(1.1)	114(1.2)	50.9
和歌山	3(1.0)	11(1.2)	8(0.6)	16(0.9)	0(—)	0(—)	3(1.8)	0(—)	41(0.8)	75(0.8)	54.7
鳥取	3(1.0)	7(0.7)	5(0.4)	14(0.8)	9(2.0)	0(—)	0(—)	0(—)	38(0.7)	51(0.5)	74.5
島根	0(—)	3(0.3)	6(0.5)	25(1.4)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	34(0.7)	53(0.6)	64.2
岡山	25(8.2)	19(2.0)	26(2.1)	34(1.8)	28(6.2)	0(—)	4(2.4)	0(—)	136(2.7)	251(2.7)	54.2
広島	4(1.3)	28(3.0)	38(3.1)	33(1.8)	0(—)	0(—)	2(1.2)	1(2.9)	106(2.1)	180(1.9)	58.9
山口	6(2.0)	19(2.0)	25(2.0)	19(1.0)	9(2.0)	0(—)	0(—)	1(2.9)	79(1.5)	142(1.5)	55.6
徳島	4(1.3)	3(0.3)	15(1.2)	16(0.9)	11(2.4)	0(—)	0(—)	0(—)	49(1.0)	84(0.9)	58.3
香川	12(3.9)	11(1.2)	17(1.4)	16(0.9)	0(—)	0(—)	2(1.2)	0(—)	58(1.1)	103(1.1)	56.3
愛媛	17(5.6)	16(1.7)	30(2.4)	14(0.8)	7(1.5)	0(—)	5(3.0)	0(—)	89(1.7)	160(1.7)	55.6
高知	9(3.0)	8(0.8)	17(1.4)	10(0.5)	0(—)	8(6.0)	2(1.2)	0(—)	54(1.1)	89(1.0)	60.7
福岡	10(3.3)	53(5.6)	52(4.2)	88(4.8)	13(2.9)	0(—)	4(2.4)	1(2.9)	221(4.3)	419(4.5)	52.7
佐賀	0(—)	10(1.1)	23(1.9)	12(0.6)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	45(0.9)	86(0.9)	52.3
長崎	3(1.0)	24(2.5)	20(1.6)	17(0.9)	10(2.2)	0(—)	0(—)	0(—)	74(1.4)	117(1.3)	63.2
熊本	13(4.3)	28(3.0)	35(2.8)	18(1.0)	3(0.7)	8(6.0)	0(—)	1(2.9)	106(2.1)	169(1.8)	62.7
大分	12(3.9)	18(1.9)	26(2.1)	6(0.3)	0(—)	0(—)	1(0.6)	0(—)	63(1.2)	111(1.2)	56.8
宮崎	7(2.3)	18(1.9)	13(1.0)	7(0.4)	0(—)	0(—)	0(—)	0(—)	45(0.9)	101(1.1)	44.6
鹿児島	18(5.9)	25(2.6)	47(3.8)	13(0.7)	9(2.0)	0(—)	0(—)	1(2.9)	113(2.2)	220(2.4)	51.4
沖縄	1(0.3)	4(0.4)	8(0.6)	10(0.5)	0(—)	8(6.0)	0(—)	0(—)	31(0.6)	102(1.1)	30.4
無回答	0(—)	3(0.3)	1(0.1)	0(—)	0(—)	1(0.8)	0(—)	1(2.9)	6(0.1)	—(—)	—
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)	9324 (100.0)	55.0

表2 勤務学校の設置主体

	高 校 看 学	准 看 学 校	進 学 コ ー ス	3 年 課	短 大	大 学	複 数 課 程	不 明	全 体
国：厚生	0 (—)	16 (1.7)	72 (5.8)	252 (13.6)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (2.9)	341 (6.7)
国：文部省	22 (7.2)	0 (—)	13 (1.0)	17 (0.9)	165 (36.4)	55 (41.4)	0 (—)	1 (2.9)	273 (5.3)
国：その他	0 (—)	11 (1.2)	0 (—)	31 (1.7)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	42 (0.8)
都道府県	159 (52.3)	17 (1.8)	258 (20.8)	416 (22.5)	85 (18.8)	7 (5.3)	91 (55.5)	4 (11.4)	1037 (20.2)
市町村	11 (3.6)	45 (4.8)	96 (7.7)	259 (14.0)	25 (5.5)	0 (—)	16 (9.8)	1 (2.9)	453 (8.8)
日赤	0 (—)	0 (—)	0 (—)	205 (11.1)	12 (2.6)	12 (9.0)	0 (—)	0 (—)	229 (4.5)
済生会・厚生連・北海道社会事業協会	0 (—)	15 (1.6)	26 (2.1)	60 (3.2)	0 (—)	0 (—)	11 (6.7)	1 (2.9)	113 (2.2)
厚生団・船員保険会・健保連・国保組 合・共済組合・全国社会保険連合会	0 (—)	12 (1.3)	25 (2.0)	59 (3.2)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (2.9)	97 (1.9)
医師会	0 (—)	650 (68.9)	270 (21.7)	74 (4.0)	0 (—)	0 (—)	11 (6.7)	6 (17.1)	1011 (19.7)
医療法人	0 (—)	78 (8.3)	144 (11.6)	112 (6.1)	0 (—)	0 (—)	6 (3.7)	8 (22.9)	348 (6.8)
学校法人	108 (35.5)	27 (2.9)	175 (14.1)	147 (7.9)	163 (36.0)	57 (42.9)	20 (12.2)	4 (11.4)	701 (13.7)
その他の法人	0 (—)	47 (5.0)	119 (9.6)	99 (5.4)	0 (—)	0 (—)	6 (3.7)	3 (8.6)	274 (5.3)
その他	0 (—)	16 (1.7)	30 (2.4)	95 (5.1)	1 (0.2)	0 (—)	1 (0.6)	0 (—)	143 (2.8)
無回答	4 (1.3)	10 (1.1)	14 (1.1)	24 (1.3)	2 (0.4)	2 (1.5)	2 (1.2)	5 (14.3)	63 (1.2)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

表3 現在勤務している学校の出身校別

	高 校 看 学	准 看 学 校	進 学 コ ー ス	3 年 課	短 大	大 学	複 数 課 程	不 明	全 体
卒業した学校	32 (10.5)	81 (8.6)	174 (14.0)	695 (37.6)	157 (34.7)	49 (36.8)	41 (25.0)	5 (14.3)	1234 (24.1)
卒業した学校の併設校や姉妹校	4 (1.3)	19 (2.0)	40 (3.2)	72 (3.9)	23 (5.1)	4 (3.0)	3 (1.8)	0 (—)	165 (3.2)
その他の学校	262 (86.2)	831 (88.0)	1018 (82.0)	1076 (58.2)	272 (60.0)	79 (59.4)	120 (73.2)	29 (82.9)	3687 (71.9)
無回答	6 (2.0)	13 (1.4)	10 (0.8)	7 (0.4)	1 (0.2)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.9)	39 (0.8)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

2 教員の属性

教員の属性として、「性別」、「年齢」、「学歴」、「取得看護職免許」、「現在の職位」についてたずねた。

(1) 性別

表4から、各課程とも9割以上の教員が『女性』であった。しかしながら、「大学」と「短大」では、それぞれ2.6%、3.0%の『男性』の教員がおり、他の課程に比べて高い割合であった。

看護教育調査

表4 性別

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体
女性	301 (99.0)	935 (99.0)	1221 (98.3)	1840 (99.5)	441 (97.4)	129 (97.0)	163 (99.4)	35 (100.0)	5065 (98.8)
男性	1 (0.3)	4 (0.4)	14 (1.1)	10 (0.5)	12 (2.6)	4 (3.0)	1 (0.6)	0 (—)	46 (0.9)
無回答	2 (0.7)	5 (0.5)	7 (0.6)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	14 (0.3)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

(2) 年齢

表5から、「3年課程」では、『30代前半』の教員が25.5%と最も多かった。「短大」や「大学」では、『50代』の教員がそれぞれ21.0%、31.6%おり一番多かった。それ以外の各課程では、『40代前半』の教員が20.0~22.1%おり一番多かった。

また、「3年課程」の教員の平均年齢は、38.5歳であったが、それ以外の各課程の教員の平均年齢は、40.3~43.1歳と40歳前半の年齢であった。

表5 年齢

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体
29歳以下	54 (17.8)	66 (7.0)	104 (8.4)	171 (9.2)	61 (13.5)	15 (11.3)	22 (13.4)	1 (2.9)	494 (9.6)
30~34歳	23 (7.6)	143 (15.1)	231 (18.6)	471 (25.5)	87 (19.2)	22 (16.5)	30 (18.3)	6 (17.1)	1013 (19.8)
35~39歳	51 (16.8)	182 (19.3)	267 (21.5)	448 (24.2)	64 (14.1)	19 (14.3)	28 (17.1)	8 (22.9)	1067 (20.8)
40~44歳	65 (21.4)	189 (20.0)	275 (22.1)	395 (21.4)	72 (15.9)	21 (15.8)	34 (20.7)	4 (11.4)	1055 (20.6)
45~49歳	61 (20.1)	137 (14.5)	164 (13.2)	182 (9.8)	50 (11.0)	7 (5.3)	20 (12.2)	10 (28.6)	631 (12.3)
50~59歳	41 (13.5)	173 (18.3)	169 (13.6)	160 (8.6)	95 (21.0)	42 (31.6)	25 (15.2)	6 (17.1)	711 (13.9)
60歳以上	4 (1.3)	41 (4.3)	17 (1.4)	9 (0.5)	22 (4.9)	7 (5.3)	3 (1.8)	0 (—)	103 (2.0)
無回答	5 (1.6)	13 (1.4)	15 (1.2)	14 (0.8)	2 (0.4)	0 (—)	2 (1.2)	0 (—)	51 (1.0)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)
平均年齢	40.3	42.3	40.4	38.5	41.5	43.1	39.8	41.8	40.2
最年少年齢—最年長年齢	22—63	25—74	23—69	25—69	23—72	26—64	26—64	29—54	22—74

(3) 学歴

1) 一般学歴

表6から、「短大」と「大学」では、『大学』卒の教員がそれぞれ42.4%、52.6%と一番多く、それ以外の各課程では、『高校』卒の教員が55.3~83.8%おり一番多かった。

表6 一般学歴

	高 校 衛 看	准 看 学 校	進 学 コー ス	3 年 課 程	短 大	大 学	複 数 課 程	不 明	全 体
中 学 校	0 (—)	5 (0.5)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	5 (0.1)
高 校	168 (55.3)	791 (83.8)	930 (74.9)	1474 (79.7)	126 (27.8)	9 (6.8)	81 (49.4)	25 (71.4)	3604 (70.3)
短 大	30 (9.9)	54 (5.7)	98 (7.9)	138 (7.5)	58 (12.8)	3 (2.3)	18 (11.0)	3 (8.6)	402 (7.8)
大 学	93 (30.6)	35 (3.7)	164 (13.2)	190 (10.3)	192 (42.4)	70 (52.6)	53 (32.3)	5 (14.3)	802 (15.6)
大 学 院	0 (—)	0 (—)	1 (0.1)	7 (0.4)	50 (11.0)	44 (33.1)	8 (4.9)	0 (—)	110 (2.1)
その他：新制度	3 (1.0)	0 (—)	1 (0.1)	3 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.8)	0 (—)	1 (2.9)	10 (0.2)
大学・大学院に在学中*	2 (0.7)	12 (1.3)	24 (1.9)	26 (1.4)	7 (1.5)	2 (1.5)	1 (0.6)	1 (2.9)	75 (1.5)
旧 制 度	5 (1.6)	40 (4.2)	16 (1.3)	12 (0.6)	18 (4.0)	4 (3.0)	3 (1.8)	0 (—)	98 (1.9)
無 回 答	3 (1.0)	7 (0.7)	8 (0.6)	0 (—)	1 (0.2)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	19 (0.4)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

註) *『その他：新制度』から分類

2) 専門学歴

表7から、「大学」では、『大学』卒の教員が40.6%と一番多く、それ以外の各課程では、『3年課程』卒の教員が32.9~69.7%おり、一番多かった。

表7 専門学歴

	高 校 衛 看	准 看 学 校	進 学 コー ス	3 年 課 程	短 大	大 学	複 数 課 程	不 明	全 体
進 学 コー ス	25 (8.2)	167 (17.7)	177 (14.3)	92 (5.0)	8 (1.8)	0 (—)	9 (5.5)	5 (14.3)	483 (9.4)
看護高校専攻科	14 (4.6)	9 (1.0)	15 (1.2)	7 (0.4)	0 (—)	0 (—)	2 (1.2)	3 (8.6)	50 (1.0)
3 年 課 程	100 (32.9)	613 (64.9)	720 (58.0)	1290 (69.7)	177 (39.1)	16 (12.0)	73 (44.5)	19 (54.3)	3008 (58.7)
助産婦・保健婦学校	63 (20.7)	68 (7.2)	166 (13.4)	296 (16.0)	69 (15.2)	18 (13.5)	27 (16.5)	3 (8.6)	710 (13.9)
短 大	25 (8.2)	29 (3.1)	72 (5.8)	108 (5.8)	76 (16.8)	3 (2.3)	15 (9.1)	3 (8.6)	331 (6.5)
大 学	65 (21.4)	11 (1.2)	60 (4.8)	41 (2.2)	72 (15.9)	54 (40.6)	31 (18.9)	2 (5.7)	336 (6.6)
修 士 課 程	0 (—)	0 (—)	2 (0.2)	1 (0.1)	31 (6.8)	31 (23.3)	5 (3.0)	0 (—)	70 (1.4)
博 士 課 程	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	6 (1.3)	5 (3.8)	0 (—)	0 (—)	11 (0.2)
そ の 他	5 (1.6)	3 (0.3)	3 (0.2)	4 (0.2)	0 (—)	1 (0.8)	0 (—)	0 (—)	16 (0.3)
旧 制 度	5 (1.6)	38 (4.0)	18 (1.4)	8 (0.4)	13 (2.9)	3 (2.3)	1 (0.6)	0 (—)	86 (1.7)
無 回 答	2 (0.7)	6 (0.6)	9 (0.7)	3 (0.2)	1 (0.2)	2 (1.5)	1 (0.6)	0 (—)	24 (0.5)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

看護教育調査

(4) 取得看護職免許

表8から、『看護婦(士)免許』は、各課程とも96%以上の教員が取得をしていた。

『保健婦免許』を取得している教員は、「高校衛看」や「短大」ではそれぞれ23.8%、25.0%おり、「大学」では60.9%の教員が免許を取得していた。それ以外の各課程では、『保健婦免許』を取得している教員は、5.0~8.1%と1割にも満たなかった。

『助産婦免許』は、「短大」と「大学」の教員の21.2%と22.6%が取得していた。『助産婦免許』を取得している教員は、「進学コース」や「3年課程」ではそれぞれ12.0%、13.8%いたが、「高校衛看」と「准看学校」ではそれぞれ8.2%、7.1%と1割にも満たなかった。

取得免許の種類をまとめたのが、表9である。

表8 取得看護職免許(複数回答)

	高校衛看	准看学校	進 コ ー ス	3年課程	短大	大 学	複数課程	不明	全体
保健婦免許	76 (25.0)	47 (5.0)	96 (7.7)	149 (8.1)	108 (23.8)	81 (60.9)	41 (25.0)	3 (8.6)	601 (11.7)
助産婦免許	25 (8.2)	67 (7.1)	149 (12.0)	256 (13.8)	96 (21.2)	30 (22.6)	25 (15.2)	2 (5.7)	650 (12.7)
看護婦(士)免許	297 (97.7)	938 (99.4)	1233 (99.3)	1849 (99.9)	451 (99.6)	128 (96.2)	163 (99.4)	35 (100.0)	5094 (99.4)
准看護婦(士)免許	51 (16.8)	192 (20.3)	215 (17.3)	125 (6.8)	13 (2.9)	3 (2.3)	15 (9.1)	8 (22.9)	622 (12.1)
無回答	4 (1.3)	5 (0.5)	7 (0.6)	0 (—)	2 (0.4)	4 (0.3)	0 (—)	0 (—)	22 (0.4)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

表9 取得免許の種類

	高 校 衛 看	准 看 学 校	進 学 コ ー ス	3 年 課 程	短 大	大 学	複 数 課 程	不明	全体
准看護婦(士)	3 (1.0)	1 (0.1)	2 (0.2)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	6 (0.1)
看護婦(士)	169 (55.6)	660 (69.9)	832 (67.0)	1395 (75.4)	274 (60.5)	36 (27.1)	94 (57.3)	25 (71.4)	3485 (68.0)
准看護婦(士)と看護婦(士)	40 (13.2)	179 (19.0)	185 (14.9)	103 (5.6)	9 (2.0)	1 (0.8)	12 (7.3)	7 (20.0)	536 (10.5)
助産婦と看護婦(士)	10 (3.3)	43 (4.6)	101 (8.1)	187 (10.1)	57 (12.6)	9 (6.8)	16 (9.8)	0 (—)	423 (8.3)
助産婦と看護婦(士)と准看護婦(士)	2 (0.7)	9 (1.0)	19 (1.5)	16 (0.9)	3 (0.7)	2 (1.5)	1 (0.6)	0 (—)	52 (1.0)
保健婦と看護婦(士)	57 (18.8)	29 (3.1)	62 (5.0)	92 (5.0)	72 (15.9)	62 (46.6)	32 (19.5)	1 (2.9)	407 (7.9)
保健婦と看護婦(士)と准看護婦(士)	6 (2.0)	3 (0.3)	5 (0.4)	4 (0.2)	0 (—)	0 (—)	1 (0.6)	0 (—)	19 (0.4)
保健婦と助産婦と看護婦(士)	13 (4.3)	15 (1.6)	25 (2.0)	51 (2.8)	35 (7.7)	19 (14.3)	7 (4.3)	1 (2.9)	166 (3.2)
保健婦と助産婦と看護婦(士)と准看護婦(士)	0 (—)	0 (—)	4 (0.3)	2 (0.1)	1 (0.2)	0 (—)	1 (0.6)	1 (2.9)	9 (0.2)
無回答	4 (1.3)	5 (0.5)	7 (0.6)	0 (—)	2 (0.4)	4 (3.0)	0 (—)	0 (—)	22 (0.4)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

「大学」では、『保健婦と看護婦（士）』の免許を取得している教員が46.6%もおり、最も多かった。それ以外の各課程では、『看護婦（士）』の単独免許を取得している教員が55.6~75.4%と最も多かった。また、『保健婦』と『助産婦』と『看護婦（士）』の3免許を取得している教員が、全体で166名（3.2%）いた。

(5) 現在の職位

表10から、「短大」や「大学」では、『助手・実習助手』である教員がそれぞれ38.4%、36.1%おり、最も多かった。それ以外の各課程では、『専任教員・教諭』である教員が60.2~78.3%おり、最も多かった。

表10 職 位

	高校衛看	准看学校	進 コ ー ス	3年課程	短 大	大 学	複数課程	不 明	全 体
専任教員・教諭	183 (60.2)	664 (70.3)	870 (70.0)	1448 (78.3)	0 (—)	0 (—)	58 (35.4)	21 (60.0)	3244 (62.9)
教 務 主 任	14 (4.6)	187 (19.8)	141 (11.4)	165 (8.9)	1 (0.2)	0 (—)	3 (1.8)	6 (17.1)	517 (10.1)
助手+実習助手	22 (7.2)	0 (—)	19 (1.5)	5 (0.3)	174 (38.4)	48 (36.1)	33 (20.1)	1 (2.9)	302 (5.9)
臨床実習指導者	7 (2.3)	46 (4.9)	64 (5.2)	76 (4.1)	4 (0.9)	0 (—)	7 (4.3)	2 (5.7)	206 (4.0)
講 師	0 (—)	0 (—)	30 (2.4)	0 (—)	112 (24.7)	28 (21.1)	21 (12.8)	0 (—)	191 (3.7)
助 教 授	0 (—)	0 (—)	12 (1.0)	0 (—)	95 (21.0)	27 (20.3)	15 (9.1)	0 (—)	149 (2.9)
教 授	0 (—)	0 (—)	5 (0.4)	0 (—)	53 (11.7)	25 (18.8)	12 (7.3)	0 (—)	95 (1.9)
教 育 主 事	1 (0.3)	8 (0.8)	15 (1.2)	54 (2.9)	0 (—)	0 (—)	3 (1.8)	1 (2.9)	82 (1.6)
助 教 諭	48 (15.8)	0 (—)	21 (1.7)	2 (0.1)	0 (—)	0 (—)	2 (1.2)	0 (—)	73 (1.4)
主 任 補 佐	1 (0.3)	12 (1.3)	19 (1.5)	38 (2.1)	0 (—)	0 (—)	1 (0.6)	0 (—)	71 (1.4)
学 科 長	16 (5.3)	4 (0.4)	9 (0.7)	9 (0.5)	9 (2.0)	2 (1.5)	3 (1.8)	0 (—)	52 (1.0)
教 務 助 手	2 (0.7)	6 (0.6)	4 (0.3)	7 (0.4)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (2.9)	20 (0.4)
学 部 長	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (0.1)	2 (0.4)	0 (—)	1 (0.6)	0 (—)	4 (0.1)
そ の 他	7 (2.3)	6 (0.6)	23 (1.9)	37 (2.0)	3 (0.7)	3 (2.3)	4 (2.4)	2 (5.7)	85 (1.7)
無 回 答	3 (1.0)	11 (1.2)	10 (0.8)	8 (0.4)	0 (—)	0 (—)	1 (0.6)	1 (2.9)	34 (0.7)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

3. ま と め

以上から、各課程別の回答教員の基本的属性の特徴をまとめると、以下の通りである。

看護教育調査

「高校衛看」の教員が勤めている学校は、国・公立と私立の割合が3：2であり、回答教員の60.2%が、専任教諭である。教員の平均年齢は40.3歳で、40～44歳の教員が21.4%と最も多い。55.3%の教員が高卒で、専門学歴としては3年課程卒が32.9%であり、看護婦（士）免許保持者が97.7%である。

「准看学校」の教員が勤めている学校は、68.9%が医師会立であり、回答教員の70.3%が専任教員である。教員の平均年齢は42.3歳で、40～44歳の教員が20.0%と最も多い。83.8%の教員が高卒で、専門学歴としては64.9%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者は99.4%である。

「進学コース」の教員が勤めている学校は、国・公立と医師会・医療法人立の割合がそれぞれ35.3%、33.3%とほぼ同じであり、回答教員の70.0%が専任教員である。教員の平均年齢は40.4歳で、40～44歳の教員が22.1%と最も多い。74.9%の教員が高卒で、専門学歴としては58.0%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者は99.3%である。

「3年課程」の教員が勤めている学校は、52.7%が国・公立であり、回答教員の78.3%が専任教員である。教員の平均年齢は38.5歳と各課程の中で一番若く、30～34歳の教員が25.5%と最も多い。79.7%の教員が高卒で、専門学歴としては69.7%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者はほぼ100%である。

「短大」の教員が勤めている学校は、60.7%が国・公立であり、回答教員の38.4%が助手や実習助手である。教員の平均年齢は41.5歳で、50歳台の教員が21.0%と最も多い。53.4%の教員が大学・大学院卒で、専門学歴としては39.1%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者はほぼ100%である。

「大学」の教員が勤めている学校は、国・公立と私立の比がほぼ1：1であり、回答教員の36.1%が助手や実習助手である。教員の平均年齢は43.1歳と各課程の中で一番高く、50歳台の教員が31.6%と最も多い。85.7%の教員が大学・大学院卒で、専門学歴としては40.6%が大学卒である。看護婦（士）免許保持者は96.2%と各課程の中で一番低く、保健婦免許保持者は60.9%と各課程の中で一番高い。

Ⅱ 教員になった動機と経験

1. 教員としての経験年数

(1) 教員としての経験年数

表11から、「高校衛看」では、『15～20年未満』の教員が22.0%と最も多く、それ以外の各課程では、経験年数『0～3年未満』の教員が19.5～33.5%おり、最も多かった。

教員としての経験年数の平均は、「3年課程」では7.4年、「准看学校」と「進学コース」では8.7年と8.4年、それ以外の各課程では10.2～12.7年であった。